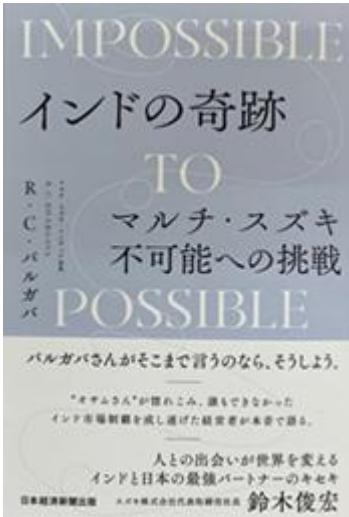
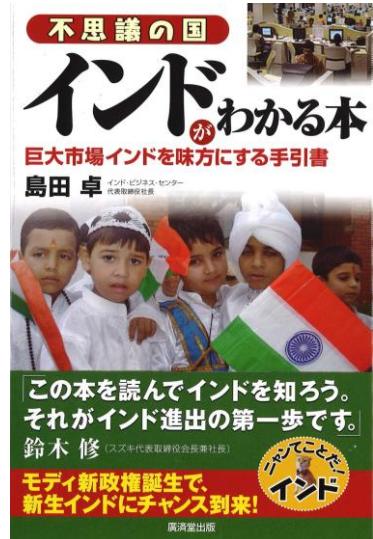
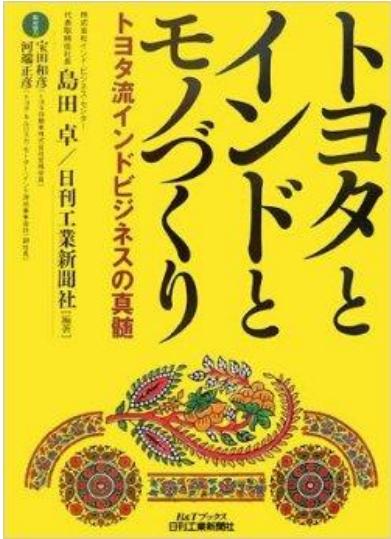
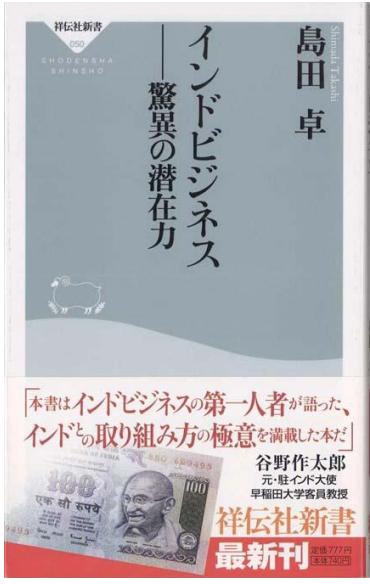
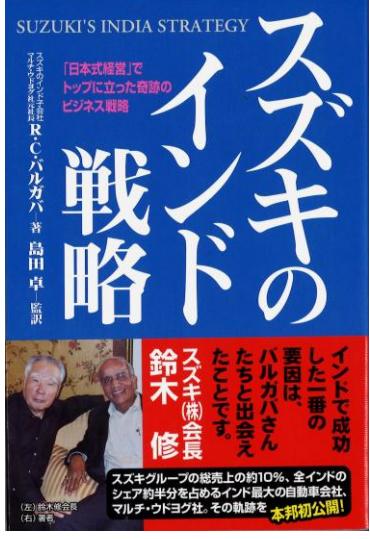


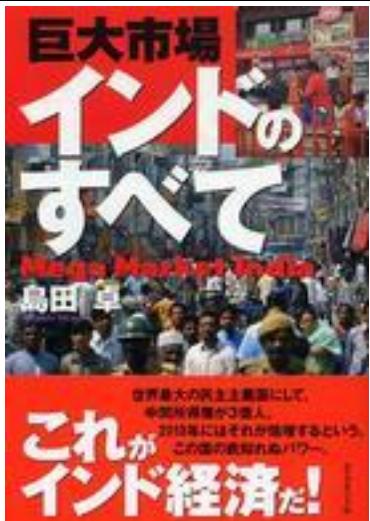
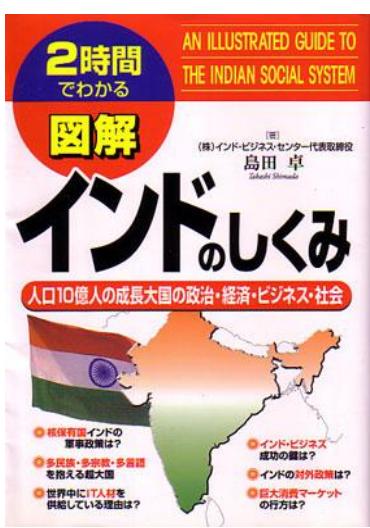
## 島田卓 著作リスト

2026年1月現在

S NO		
1		<p>『インドの奇跡 マルチ・スズキ不可能への挑戦』 R・C・バルガバ 著 島田 卓、岡田 浩之、山田 剛 編集協力 発売日：2025年10月 出版社：(株)日経BP 日本経済新聞出版 スズキ株式会社 代表取締役社長 鈴木俊宏氏 推薦</p> <p>本書は、スズキのインド子会社マルチ・スズキがいかにして日本の経営システムをインドに導入し、それまでにないタイプの企業をつくり上げたかを、インド市場を制した経営者が、鈴木修氏との運命的の出会いから紐解き解説するインドビジネス関係者必読の書。</p>
2		<p>『インドとビジネスをするための鉄則55』 島田 卓 著 発売日：2016年1月 出版社：アルク H.I.S 代表取締役会長兼社長 澤田 秀雄氏 推薦</p> <p>これまでインドとまったく接点がなかったのに、会社から突然インド担当を命じられた! そんなビジネスパーソンが知っておきたい、インド社会の基礎知識、仕事を着実にこなすコツ、マナーやNG行動、インドで生活するための情報などを網羅。</p>
3		<p>『不思議の国 インドがわかる本』 島田 卓 著 発売日：2014年6月 出版社：廣済堂出版 スズキ株式会社 代表取締役会長 鈴木 修氏 推薦</p> <p>インドで日本人ビジネスマンが成功するためのノウハウを伝授してきた著者が、インドの街角で見たもの、聞いたこと、触れたものを語り尽くす。激変を遂げつつある現在のインドを知る決定版。インド・ビジネス進出を狙う企業・ビジネスマンの必読書。</p>

S NO		
4		<p>『図解 インド ビジネスマップ 主要企業と業界地図』      インド・ビジネス・センター (著) 島田 卓 (監修)      発売日 : 2011 年 12 月      出版社 : 日刊工業新聞社</p> <p>インドは、人口 10 億を超す大市場であり、日本企業のパートナーとしても重要性が高まっている。本書はインドの経済・社会状況を業界別に“マップ形式”でわかりやすくまとめ、その分野の代表的な企業を最新データとともに紹介する。情報満載で実用性が高い、インドビジネスの入門の手引きであり、必読の書。</p>
5		<p>『日本を救うインド人』      島田 卓 著      発売日 : 2008 年 2 月      出版社 : 講談社</p> <p>日本が生き残るためにには、インドと手を組め。ジリ貧日本の福の神は、目覚ましい発展を遂げつつある未完のビッグプレイヤー、インド。カレーと象の国から、IT エリートと 2 桁九九の国へ。彼らと深くわかりあうためのコツと、日本人が歩むべき道とは！？未完の人材大国が、ジリ貧日本の福の神になる。</p>
6		<p>『インド 2020 世界大国へのビジョン』      A.P.J. Abdul Kalam、Y.S. Rajan (原著) 島田 卓 (監修)      発売日 : 2007 年 4 月      出版社 : 日本経済新聞出版社</p> <p>グローバル経済がフラット化するなかで、その急成長ぶりが世界中から注目を集めるインド。本書は「2020 年までに世界大国になる」ために何をすべきかを、科学者出身であり、インドの大國化路線を主導してきた現職大統領が、IT、製造業、国防など分野ごとの詳細なデータや図表をまじえて示した本である。インドが何を考え、どんな行動を取ろうとしているかを理解するうえで必読の書。</p>

S NO		
7		<p>『トヨタとインドとモノづくり』 島田 卓、日刊工業新聞社 著 発売日：2007年3月 出版社：日刊工業新聞社</p> <p>インドに工場進出したトヨタの示唆に富んだ実例を中心に、その取り組みの詳細からインド経済、産業の基礎的な情報までをドキュメンタリータッチで紹介。トヨタ初代インド工場長の全面取材協力により、トヨタがなぜインドに進出したのか、またそのノウハウが初めて明かされる。</p>
8		<p>『インドビジネス - 驚異の潜在力』 島田 卓 著 発売日：2006年8月 出版社：祥伝社 元・駐インド大使 谷野 作太郎氏 推薦</p> <p>IT業界の人材の宝庫・インド。そこには約束された輝く未来が待ち受けているかのように見えるが、依然として無数の言語と理解の壁を越えた社会制度や習慣、因習が残っており、被支配民族として形成されてしまった国民性がある。そんなインドで日本企業がビジネスで成功を収めるには何をどう考えたらよいのか。そのためのノウハウを、インドビジネスで長年の経験を有する著者が、現地での実体験をベースに、平易に解説。</p>
9		<p>『スズキのインド戦略』 R.C. Bhargava (原著), 島田 卓 (翻訳) 発売日：2006年12月 出版社：中経出版</p> <p>スズキはインドで独り勝ちといわれている。これはひとつの合弁企業が生み出した奇跡だった。身分制度や文化の違いを超えて根付いた「日本の経営」とは。「大国インド」で日本企業が進むべき道とは。創業期から現場の経営トップとして走り続けた著者による、スズキのインド戦略のすべて。</p>

S NO		
10		<p>『巨大市場インドのすべて』 島田 卓 著 発売日：2005年7月 出版社：ダイヤモンド社</p> <p>経済自由化以降の驚くべき成長と、3億人ともいわれる規模の富裕層・中間層の出現、IT立国としての躍進ぶりなど、今、世界で最も活気あるマーケット「インド」を徹底検証する。</p>
11		<p>『超巨大市場インド』 島田 卓 著 発売日：2002年2月 出版社：ダイヤモンド社</p> <p>「21世紀の世界経済を見る上で、中国と並んで決して目を離せない存在」であるインド市場の魅力を解説。単にインドへの進出をすすめるだけでなく、市場のネガティブな面も含めて客観的に伝える。国の基礎指標や政治・経済環境、税制や商法などの投資環境のデータも掲載。日本企業の新たなフロンティアを知らせてくれる1冊。</p>
12		<p>『2時間でわかる 図解 インドのしくみ』 島田 卓 著 発売日：2001年12月 出版社：中経出版</p> <p>巨大消費マーケット、目覚めたインド巨象に乗り遅れるな！現時点の日印関係は、まだまだ途上段階である。「暑い・カレー・きたない・象」というイメージ本位のインド像から脱却し、政治・経済・軍事・マーケット、あらゆる分野で存在感を表わす「現実のインド」をつかむ。そのためにインドの「社会、政治・経済の基本事項」をよく知ってもらうための解説書。</p>

S NO		
13		<p>『世界の明日 日本の明日を読む』</p> <p>土志田 征一、日本経済研究センター (編集)</p> <p>島田 卓 (執筆)</p> <p>発売日 : 2001年2月</p> <p>出版社 : 日本経済新聞社</p> <p>台頭する中国のパワーにどう対応するのか？アメリカ経済、社会の行方をどう見ればよいのか？ 国家連合の新しい姿を模索するヨーロッパから何を学べるのか？ 第一級の専門家が新世紀を左右する潮流をとらえ、日本が進むべき道を提言。島田は『IT化で台頭するインド経済』を執筆。</p>